

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和2年 1月 15日

事業所名: 児童発達支援センターひまわり

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	4	11		限られたスペースの中で工夫して個別のブースを取るようにした。	64	2	0	1	室内・室外ともに遊具があり、広々としているのでよいと思います。	児童の発達に応じたよりよい環境づくりをしていく。
	2 職員の適切な配置	1	14		急な欠勤があった場合、対応はできているが、支援は薄い。	55	6	3	3	子どものことを理解してくれている。	人員基準は満たしているのので、職員間でより効率的な連携を図る。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	7	8		それぞれの特性を見極めながらスケジュールやカードの提示を行っている。	66	0	0	1	写真などでスケジュールを掲示したりと配慮して分かりやすいと思います。	構造化された環境の中で、一人一人に合った配慮を行っている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	13	2		清掃と次亜塩による消毒をすることで安全で清潔な生活空間の確保に努めた。	63	0	0	4	毎日掃除してくれているようで清潔感があると思います。	新築のよさが長く感じられるよう清潔で機能的な生活空間を確保していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	7	8		職員会等で業務改善に関する話し合いをもつようになっている。	/	/	/	/	/	具体的な目標を立て、適切な評価ができるよう期を設けてPDCAサイクルに取り組む。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	2	13		外部講師や監査時の指導を実践するよう努めた。	/	/	/	/	/	今後も外部関係者からの助言や指導を業務改善に取り入れていく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	10	5		外部から複数の講師を招いて研修会を行った。	/	/	/	/	/	積極的に研修会に参加する。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	10	5		保護者との懇談やケース会をもつなどより適切なアセスメントが行えるよう努めた。	59	6	0	2	どこが困っているかを一緒に考えて支援計画を立ててくれる。	適切なアセスメントができるよう職員の資質・能力の向上に努める。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	10	5		毎日通園では成長やニーズに合った具体的な支援ができるよう3か月ごとに支援計画を見直した。	55	3	0	9		家庭と連携しながら具体的な支援を継続して行っていく。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	12	3		個別活動や集団活動を取り入れたスケジュールを作成し、個に応じ運用をした。	/	/	/	/	/	子どもが意欲的に取り組める活動が個別・集団でできるよう職員間で議論し実践していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	11	4	支援の評価を複数の指導員で行うことにより今後の課題と手立てを明らかにするようになった。	59	6	0	2	そのときにあった支援をしてくれる。	支援内容を職員間で共有し、園全体で取り組めるよう努める。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	7	8	個別で考え、クラスで話をまとめ、職員会議で検討した。	/	/	/	/	/	全職員が企画に携われるよう業務分担や職員会議の持ち方を改善していく。
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	7	8	約3か月を区切りとして季節やニーズに応じた活動プログラムを作成した。	44	3	0	20	毎回、いろんな活動をしてくださり、助かっています。	1年を4期に分けた年間計画を作成する。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	2	13	家庭での過ごし方について助言を行った。	/	/	/	/	/	今後も丁寧な対応を心掛けていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	10	5	毎朝、ミーティングを行い、欠席状況や当日の活動、注意事項などの情報交換を行った。	/	/	/	/	/	今後も毎朝のミーティングを継続し、情報提供、情報共有に努める。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	6	9	クラスで情報を共有するとともに、重要な案件については臨時の職員会議で対応について共通理解した。	/	/	/	/	/	事案に応じた適切な対応ができるよう情報の共有に努める。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	12	3	毎日、日々の記録を取ってその日一日の利用児童の様子を振り返っている。	/	/	/	/	/	今後も記録を大切に、記録が活かされる取組を行う。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	10	5	毎日通園では3か月ごと、併行通園では半年ごとに支援計画の見直しを行うようにした。	/	/	/	/	/	定期的なモニタリングを行い、発達に応じた支援計画を作成していく。	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	9	6	サービス担当者会議の内容を共有するよう努めた。	/	/	/	/	/	できる限り参加していく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			非該当	/	/	/	/	/	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見	
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				非該当							
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	9	6		支援内容や方法についてより具体的な情報交換ができるよう努めた。						継続して情報の共有に努める。	
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	8	7		保護者の同意を得た上で支援計画を基に情報提供を行った。						今後も円滑な移行ができるよう情報提供に努める。	
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	6	9		他の児童発達支援センターと連携するとともに、外部研修にも自主的に参加した。						今後も研修機会の確保に努める。	
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	2	3	10	併行通園の児童は他園との交流ができていますが、毎日通園の児童についてはできていない。	24	5	11	27		様々な角度から検討をしていきたい。	
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	3	12		地域の方に施設見学をしていただいたり、研修室を小学校通級指導教室担当者会に貸し出したりした。						今後も開かれた施設として周知していきたい。	
	保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	10	5		利用契約時や制度変更があったときは丁寧に説明するよう努めている。	62	4	0	1	契約時に丁寧にさせていただきました。	今後も丁寧な説明を行っていく。
		2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	13	2		毎日通園では3か月ごと、併行通園では半年ごとに支援計画の見直しを行い懇談会等で説明している。	53	6	2	6		今後も丁寧な説明を行っていく。
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		8	7		保護者全員を対象にし学習会や組別の懇談会をもった。	36	9	7	15	自宅で関わり方などもう少し具体的に教えてもらったほうが分かりやすいかもしれません。	様々な機会を活用して保護者の学びの場づくりに取り組んでいきたい。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	12	3		日々の連絡帳、月に1度の懇談会などで子どもの様子を細かくやり取りしている。	58	5	0	4	その日したこと、できるようになったこと、苦手なことなどをその都度説明してくれる。	保護者との情報交換を重視し共通理解がもてる関係をつくっていく。
	5	12	3		懇談会やお迎えの時間を中心に適切・迅速な対応を心掛けている。	55	7	3	2	悩んだり困ったりするといろいろアドバイスをしてくださりとても心強い。	職員の研修を深めるとともに、常に共に考える姿勢で相談活動を行っていく。
	6	6	4	5	保護者参加型の行事や組別の懇談会を開催し保護者同士の関わりがもてるようにした。	17	16	13	21	少しずつ交流の場を設けてくださって感謝しています。	保護者同士が関わる機会を増やしていきたい。
	7	13	2		保護者からの苦情や意見があった際には迅速に対応するよう努めた。	33	2	1	31	些細な疑問や苦情にも親身に聞いて迅速に対応して下さるので感謝しています。	保護者からの苦情には誠実に迅速に対応していく。
	8	13	2		子どもに応じてカードや言葉掛けで配慮している。	53	5	0	9	毎日のノートはとても分かりやすくありがたいです。	保護者と連携しながら個に応じたよりよい対応が取れるようにしていく。
	9	14	1		毎月の園だよりやお知らせ、ホームページ等で情報発信に努めた。	37	2	5	23	毎月写真がついていて活動内容が分かりやすく安心しています。	今後も毎月の園だよりの充実や適切な時期の情報提供に努める。
	10	12	3		契約時に職員が守秘義務や個人情報の取扱いに関して誓約している。西条市社会福祉協議会個人情報保護規定に則り業務を行っている。	60	1	0	6	徹底していると思います。	今後も危機感をもって個人情報を取り扱う。
非常時等の対応	1	10	5		各マニュアルを作成し、掲示している。契約時にも説明を行っている。	37	7	7	16		契約時に保護者へ丁寧な説明を行うとともに、更なる周知に努める。
	2	12	3		消防署の指導に従い訓練を行っている。	28	6	0	33		保護者への更なる周知に努める。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	9	6		職員で共通理解をもち対応できるよう研修している。						研修の中で虐待に関することを定期的に取り入れる。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	5	10		現在、身体拘束を必要とする利用者はいないため児童発達支援計画には記載していない。						よりよい支援ができるよう保護者との連携を深める。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	11	4		食物アレルギーに関するアンケートや毎月の給食献立の確認から職員間で共通理解をもつようにしている						情報共有、確認を確実に進行。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	10	5		ヒヤリハット事例を記録するとともに、職員全体で共有できるように朝の会などで報告を行っている。						今後もヒヤリハット事案を確実に記録し、園の運営に生かす。